

東北大学大学院情報科学研究科
言語変化・変異研究ユニット主催

講演会のご案内

講師

時崎 久夫 先生
(札幌大学教授)

日時: 2020年6月13日(土) 13時~17時半

場所: Google Meet による遠隔開催

チュートリアル: 13時~15時 「WALS を用いた言語類型論研究」

概要: WALS (World Atlas of Language Structures) は、マックス・プランク研究所が、文献に基づき、世界の言語の音韻・形態・統語の特徴を地図にまとめたデータベースである。2008年から無料でオンライン版が公開され、共時的な言語の変異を地理的に概観することができ、解説や文献目録も有用である。このチュートリアルでは、WALS Online の基本的な構成と使い方を説明し、データに基づく言語類型論研究の方法について考えたい。参加される方は、このライブ配信を見るタブレットやパソコンなどに加えて、もう一台インターネットに接続したパソコンで同時に WALS を操作していただくと良いだろう。

講演会: 15時半~17時半 「語順と音韻の変化・変異」

概要: 世界の言語は、語順が多様であり、歴史的にも変化している。この語順の多様性を、生成文法のミニマリスト・プログラムが仮定する普遍的な統語論から、どのようにすれば導き出せるのだろうか。この講演では、Chomsky (2012) の、語順に関する主要部パラメータは外在化のパラメータである、という考えに基づき、音韻の変化・変異が語順などの変化・変異を生み出すということを論じる。具体的には、語強勢の位置が共時的・通時的に語順と対応していることを示し、語順が接辞や複合語などの形態論の変化・変異につながっていることを述べる。これにより、言語の変化・変異を音韻に還元し、可能な言語の変化・変異を制限することができることを論じたい。

多数の方のご参加を歓迎いたします (事前申し込み必要)

本講演会・チュートリアルは、東北大学運営費交付金、東北大学大学院情報科学研究科講演会・シンポジウム開催支援経費、および、科学研究費・基盤研究 (C) 課題番号 20K00658 (言語変化と言語発達の比較に基づく普遍文法とマイクロパラメータの解明) による補助を受けています。

本講演会・チュートリアルの参加者の方には、開始時間直前に参加用 URL をお知らせしますので、参加希望の方は、事前に以下のメールアドレス ([at]を@に変更) までお知らせ下さい。

申し込み先: 小川芳樹 (yoshiki.ogawa.e3[at]tohoku.ac.jp)

言語変化・変異研究ユニット URL:

<http://ling.human.is.tohoku.ac.jp/change/home.html>